

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



幅広い視野で診療いたします



総合診療センター長 辻 隆宏

【特集】

総合診療センターのご紹介

- VOICE
- 医学シリーズ 脳神経内科
- くまびょう TOPICS
- 放射線治療（外照射）の再開についてのお知らせ
- 研修医レポート
- 研修のご案内
- 第27回 国立病院機構熊本医療センター医学会の開催と演題募集のご案内
- 外来担当医名簿

患者さまをお待たせしないためにご紹介は、
外来紹介予約センターをご利用ください。



熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明



096-353-6565
096-353-6566

FAX 096-353-6563

受付 平日 8:30 ~ 17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター

独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター

National Hospital Organization Kumamoto Medical Center



熊本医療センター

検索

ホームページ QR コード

特集

総合診療センターのご紹介

いつもご紹介頂き有難うございます。総合診療科は、前任の清川哲志医師より引継ぎ3年目を迎えております。現在は2名体制で月曜日から金曜日、診療にあたっております。令和2年度の新規外来患者は623名（膠原病96名、感染症115名）、入院患者（延べ人数）は217名（膠原病46名、感染症112名）でした。当科の特色は以下の通りです。

- 主な紹介内容は、発熱、痛み、倦怠感、浮腫、検査値異常（炎症反応上昇など）です。
- 診断に必要な検査（血液検査、CT、超音波など）の大半は当日可能です。必要に応じて当院の専門医に相談しております。
- 最終的な診断は、感染症、膠原病、悪性疾患、精神疾患と多岐にわたっております。当科で対応可能であれば引き続き診療を継続していきます。専門医の診療が望ましい場合は、各専門医に引き継いでおります。
- 診断確定に至らないこともありますが、様々な検査を行うことで患者さまの不安軽減につながることがあります。

- 指導医のもと研修医の外来研修を行っております。
- 診断に携わった主な疾患は以下の通りです。

全身性エリテマトーデス、関節リウマチ、リウマチ性多発筋痛症、成人スチル病、全身性強皮症、多発性筋炎・皮膚筋炎、混合性結合組織病、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症、高安動脈炎、巨細胞性動脈炎、結節性多発動脈炎、シェーグレン症候群、ベーチェット病、偽痛風、家族性地中海熱、IgG4関連疾患、悪性リンパ腫、進行癌、サイトメガロウイルス感染症、パルボウイルス感染症、伝染性単核症、带状疱疹、手足口病、梅毒、HIV感染症、猫ひっかき病、感染性心内膜炎、化膿性脊椎炎、肺炎、尿路感染症、亜急性甲状腺炎、慢性甲状腺炎、深部静脈血栓症、静脈弁不全、線維筋痛症、機能的発熱、その他精神疾患。

診療する症状や疾患が多岐に渡っているのが当科の特徴です。皆様のご期待に沿えるよう今後も努力いたす所存です。よろしくお願い申し上げます。

総合診療センター長
つじ たかひろ
辻 隆宏



基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、
良質で安全な医療を目指します。

運営方針

1. 良質で安全な医療の提供
2. 政策医療の推進
3. 医療連携と救急医療の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 国際医療協力の推進
6. 健全経営

患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります

VOICE

登録医の声



医療法人 友枝会
友枝歯科医院

ともえだ けい
院長 友枝 圭



◆貴院のアピールをお願いします

当院は1979年(昭和54年)3月に、北区武蔵ヶ丘にて開院いたしました。2019年9月、医療法人への移行に伴い、院長を友枝和夫より友枝圭に継承。2020年には、新医院への建て替えを行っております。

友枝歯科医院では虫歯や歯周病の治療をすることを主たる業務、目的とは考えていません。仲間と楽しく食事をしたり、家族とたくさん笑っておしゃべりしたり。私たちが提供する医療を通じて、患者さまの人生をいかに幸せで豊かなものにできるのか。それが当院の診療理念であり、テーマです。

日本補綴歯科学会専門医、日本口腔インプラント学会専門医、日本口腔外科学会専門医、日本歯科麻酔学会認定医、在籍。

◆先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

水前寺成趣園と、それに連なる江津湖公園。近くに住んでいるので、よく家族と散歩に行きます。プラタモリを観て、熊本を熊本たらしめているのは、活火山である阿蘇であり、阿蘇がなした熊本平野の地層(火山灰)であり、地層がもたらす美しい水であることを知りました。熊本県立図書館から加瀬川沿いをぜひ歩いてみてください。都心部を流れる透明で清らかな川の流れに、驚いて頂けることかと思えます。季節によっては、蛍をみることもできます。

◆当院へのご要望をお聞かせ下さい

診療所レベルでは対応が困難な症例(口腔がん、蜂窩織炎、外傷・骨折、親知らず(深部)抜歯等)を受け入れて下さり、ありがとうございます。ま



た、医科歯科連携に精力的に取り組んでいらっしゃる歯科口腔外科部長の中島健先生にはいつもご指導を賜り、深く感謝しております。今後とも、よろしく願い申し上げます。

【診療科目】

歯科、矯正歯科、小児歯科、歯科口腔外科

【診療受付時間】

月・火・水・金

午前 9:00 ~ 12:30 午後 14:00 ~ 19:00

土

午前 9:00 ~ 12:30 午後 14:00 ~ 17:00

【休診日】

木曜日、日曜日、祝祭日

【住所】

〒861-8001 熊本県熊本市北区武蔵ヶ丘 5-1-16

【TEL】

096-339-4593

【FAX】

096-339-4593





No. 276

医学シリーズ

脳神経内科 (No.9)

最近のトピックス

パーキンソン病について

国立病院機構熊本医療センター
脳神経内科副部長

こさか たかゆき
小阪 崇幸



パーキンソン病ってどんな病気？



パーキンソン病は、動作が遅くなったり、手がふるえたり、小刻みな歩行になったり、転びやすくなったりする病気です。ジェームズ・パーキンソンさんというイギリスのお医者さんが症状をくわしく報告したことにちなんでパーキンソン病という名前になったそうです。

パーキンソン病を疑ったら何科を受診すればよいの？



脳神経内科にご相談ください。

パーキンソン病の診断のためにどのようなことをするの？



パーキンソン病が疑われるような症状がいつからどのように出現したかなどについて詳しくお伺いします。その後パーキンソン病に特有の症状の有無や程度について診察します。また、必要に応じて補助的な検査が追加されます。補助的な検査には、血液検査、頭部MRI(エムアールアイ)、MIBG(エムアイビージー)心筋シンチ、DAT scan(ダットスキャン)などの画像検査が含まれます。

パーキンソン病の治療にはどのようなものがあるの？






パーキンソン病は、ドーパミンというホルモンを作る神経細胞が減少することが原因で起こります。ですから、治療としては足りなくなったドーパミンを補充することが治療の基本となります(ドーパミン補充療法)。ドーパミンを直接補充する以外にもパーキンソン病にはたくさんの種類の飲み薬がありますので、治療薬については主治医の先生と相談しながら調整が必要になります。薬剤のみにて調整が難しくなった場合には症状の緩和を目的に手術が検討されることもあります。

パーキンソン病で注意することは？



適度な運動、食事、睡眠はパーキンソン病においても大切です。その他、薬を飲むのを急にやめたりすると体がびっくりして高熱をきたしてしまうことがありますので注意しましょう。

パーキンソン病の予防について

| | | | |
|---|--|--|--|
| <p>運動をする (または体操をする)</p>  | <p>睡眠をとる</p>  | <p>コーヒーを飲む</p>  | <p>緑茶を飲む</p>  |
| <p>好きなことや楽しいことをして ストレス解消をする</p>  | <p>バランスの良い 食事を摂る</p>  | <p>よく笑う</p>  | <p>など...</p> |

令和3年度安全功労者総務大臣表彰を受賞しました。

庶務班長
ありま よしひろ
有馬 義弘



当院は、消防関係法令の遵守を徹底し、職員に対する防火、防災に関する研修の実施と教育、訓練の積極的な実施により災害時の行動力向上に努めています。更に救急医療では、各消防機関と連携し、重症傷病者の救命を第一に実践すると共に教育面では多くの研修生を受け入れつつ、災害発生時における医療体制の確保についての知識の普及啓発活動を行っています。又、令和2年7月豪雨の際には、早期に医師、看護師を被災地に派遣し医療支援活動にあたりました。今般、このような優れた実績が評価され、安全功労者総務大臣表彰を受賞しました。今後も今回の受賞を励みに防火・防災活動の継続に努めていくことが望まれます。

放射線治療（外照射）の再開についてのお知らせ

平素より大変お世話になっております。

この度、予定通り新外照射装置（Varian社製 TrueBeam）への更新作業が終了しましたので、再開についてお知らせいたします。

令和3年9月22日より放射線治療の依頼受付を再開いたします。照射再開は10月4日からを予定しております。

放射線治療の適応がありそうな患者さまがいらっしゃいましたら、今まで通り放射線治療担当医：富高悦司（不在の場合は山口 晃世）まで、まずはお電話にてご相談いただけますと幸いです。

これまで以上の精度管理を行い、患者さまにとって安心安全かつ高精度の放射線治療を目指して参ります。

今後とも患者さまのご紹介ならびにご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

令和3年9月

放射線治療科部長
とみたか えつし
富高 悦司



研修医レポート

歯科臨床研修医

園山 卓

そのやま すぐる



こんにちは。研修歯科医1年目の園山卓と申します。3月に九州歯科大学を卒業し、熊本医療センターにて研修をさせていただいております。

よく病院歯科の研修歯科医はなにをしているの?と聞かれますので、少し紹介をしたいと思います。病院内の歯科では、入院患者さまや血液内科などからコンサルトしていただいた患者さまの口腔清掃、ブラッシング指導などの口腔内環境の管理や深部の親知らずの抜歯治療、口腔内腫瘍、外傷、炎症等、様々な口腔内に悩みを抱える患者さまを診療しております。熊本医療センターは救急病院なの

で、外傷や急性炎症の患者さまはほかの病院よりも多く来院されている印象があります。

私の現在の目標としては、親知らず抜歯の手技の習得、全身管理の仕方を把握することです。患者さまを相手にタービンやメスを使用することに最初は戸惑いもありましたが、徐々に慣れて参りました。練習したことや勉強したことを一つ一つ実践する度に、充実感や達成感を強く感じております。先輩の先生方やスタッフの皆さまにご指導頂きながら、目標を一つ一つクリアできるよう、今後も日々練習と勉強に励んでいきます。

また当院は他科との交流や相談が気軽にできる環境だと思っております。耳鼻科とのカンファレンスを月一で開催したり、形成外科や皮膚科で研修できる期間もあります。ありがたいことに、医科の同期の研修医とも話しやすい環境にあります。医科の先生や多職種の方のお話が聞ける機会はなかなかありませんので、いろいろな先生のお話を聞いて、幅広い知識を身につけていきたいと考えております。

まだまだ知識も技術も未熟な私ですが、できないことにたくさんチャレンジし、できることを増やしていきたいと思っております。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

臨床研修医

高木 友理子

たかぎ ゆりこ



こんにちは。研修医1年目の高木友理子と申します。熊本大学医学部を卒業し、4月から熊本医療センターで初期臨床研修をさせていただき早くも4ヶ月が経ちました。

私は熊本大学病院の臨床研修プログラムでの採用で、熊本医療センターでの研修は今年1年間だけとなります。消化器内科から研修を始め、救急・総合診療科を経て、現在は麻酔科で研修させていただいております。病院見学にも来ていなかったため、4月の準夜勤研修で初めて熊本医療センターの救急外来の様子を目の当たりにし大学病院との違いに少々面食らい、さらに最初の1ヶ月は電子カルテの使い方や病棟のルールなど業務の基礎基本最低限のことすら分からないことが

かりで、何をすることも苦戦していたように思います。指導医の先生や看護師さんをはじめ多くの方に多大な迷惑をおかけしながらも、細かなことから教えていただき少しずつ出来ることが増え、大変ながらも充実した日々を過ごしております。

また、私は熊本大学の柴三郎プログラム奨学生でもあり、現在研修医1年目でありながら大学院の博士課程1年に在籍しているため、研修を始めて1ヶ月ほど経ち少し仕事に慣れた頃から大学院での研究も再開しました。早朝仕事の前、或いは夜仕事の後、夜勤明けや休みの日など、空いた時間を利用して研究室に通い実験をする、社会人と学生の二足の草鞋は想像していた以上に遥かに大変で、あまりの休みの無さに体力の限界を感じることも多いです。しかし、仕事できつい思いをした日も仕事終わりに実験をしているうちに気分が軽くなったり、実験が上手くいかない時も仕事で良いことがあるとまた頑張ろうとモチベーションが上がるなど、両方に取り組んでいるからこそ支えられている部分もあります。

まだまだ至らない点ばかりですが、今後も一人前の医師を目指し精進して参りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

臨床研修医

中尾 洸

なかお こう



こんにちは。研修医1年目の中尾洸と申します。熊本大学医学部を卒業し、4月より熊本医療センターにて初期臨床研修をさせていただき早4か月が経ちました。慣れない環境の中、先生方やスタッフの皆様のおかげで日々研修を頑張っております。

私はまず麻酔科から研修をスタートしました。カルテの使い方も分からず、診察や手技も初めてのことが多かったですが、麻酔科の先生方に優しく指導していただいて、とても充実した毎日を送らせて

いただきました。静脈路確保や気管挿管、脊髄くも膜下麻酔など多くの手技や、術中の麻酔管理など多くのことを経験できました。

次に呼吸器内科で研修をさせていただきました。麻酔科とは内容も全く異なり、指導医の先生に手取り足取り教えていただき、病棟業務や胸腔ドレーン挿入などの手技も徐々に身につけていきました。またコメディカルスタッフの方々の協力あつての日々の研修だと改めて痛感しました。

現在は血液内科で研修させていただいております。picc挿入や骨髄穿刺など初めて行う手技も多く、大変ながらもとても勉強になっています。血液内科の先生方の、化学療法に伴う患者さまの苦痛に寄り添う姿勢も日々感銘を受けています。

これからも様々な科で研修をしていく中で、ご迷惑をおかけするとは思いますが、一人前の医師に少しでも近づけるように精進して参りたいと思っております。2年間どうぞよろしくお願ひいたします。

2021年10月研修のご案内

第45回 診断と治療 —最新の基礎公開講座— 〔日本医師会生涯教育講座2.5単位認定〕

日時▶10月2日(土) 15:00~17:30
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

テーマ「小児血液疾患の診断と治療」

座長 国立病院機構熊本医療センター小児科医師 高木一孝
 国立病院機構熊本医療センター小児科医師 山下貴大
 国立病院機構熊本医療センター小児科医師 右田昌宏
 熊本大学大学院生命科学部小児科学講座助教 阿南 正 先生

〈講演1〉小児白血病の診断と治療
 〈講演2〉小児非悪性血液疾患の診断と治療
 〈講演3〉小児固形腫瘍の診断と治療

緩和ケア研修会

日時▶10月9日(土) 8:30~17:30
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

第48回 ナースのための心電図セミナー (WEB開催)

日時▶10月16日(土) 9:30~14:30
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

国立病院機構熊本医療センター循環器内科部長 田山信至
 国立病院機構熊本医療センター診療部長 藤本和輝
 すえふじ医院 院長 末藤久和 先生

〈講演1〉心電図の基礎
 〈講演2〉各種心疾患における心電図
 〈講演3〉不整脈

小児科火曜会 (WEB配信有り)

日時▶10月26日(火) 19:00~21:00
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修室1

第144回 総合症例検討会 (CPC) 〔日本医師会生涯教育講座1.5単位認定〕

日時▶10月27日(水) 19:00~20:30
場所▶国立病院機構熊本医療センター研修ホール

テーマ「腸閉塞の治療中に急変した80代女性」

※今後の感染状況や熊本県の動向を踏まえ、急遽変更・中止にさせていただきます。
 最新の情報は当院ホームページ等でご確認をお願いいたします。

研修へのお問い合わせはこちら
 国立病院機構熊本医療センター
 地域医療研修センター (096) 353-3515 (直通)

研修センター
 QRコード▶ 

第27回 国立病院機構熊本医療センター医学会の開催と演題募集のご案内

第27回国立病院機構熊本医療センター医学会が2022年1月15日(土)に国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター大ホールにて現地開催で開催されます。(日時、場所、開催形式については変更になる場合もございます。その場合、当院ホームページ、くまびょうNEWSでお知らせいたします。)

例年通り病院全体の職種が参加し発表します。

開放型病院登録医の先生方や施設のスタッフの方にも是非ご発表頂きたく演題募集をさせていただきます。

応募方法は演題抄録をCDRまたはUSBメモリに入れて下記宛てにご送付頂くか、e-mailにてご送信下さい。

多数のご参加をお待ち致しております。

抄録提出締切日：2021年11月17日(水)

- 抄録には、演題名、所属、発表者、共同演者、本文を記述してください。
- 本文は【目的】【方法】【結果】【総括】、症例報告は【目的】【症例】【経過】【考察】にそって記述して下さい。本文は600字以内にして下さい。
- 図表の使用はできません。半角カナは使用できません。
- 尚、発表は原則としてPCで、使用ソフトはパワーポイントで作成したものに限りです。
- 発表時間は6分、討論3分です。
- 参加費は無料です。

お問い合わせ・送付先：〒860-0008 熊本市中央区二の丸1番5号

国立病院機構熊本医療センター医学会運営 臨床研究部長 富田正郎
 事務局 高橋和恵

TEL:096-353-6501 FAX:096-325-2519 E-mail:takahashi.kazue.ck@mail.hosp.go.jp

患者さまをお待たせしないために

ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565 096-353-6566

FAX
096-353-6563



国立病院機構
熊本医療センター
地域医療連携センター長
菊川 浩明

令和3年10月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター



| 診療科 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | |
|---------------------|--|---------------------------------------|---|--|--------------------------------------|--|---------------------------|
| 総合医療センター (内科) | 総合診療 | 辻 隆宏 國友 耕太郎 | 辻 隆宏 國友 耕太郎 | 辻 隆宏 吉村 文孝 國友 耕太郎 | 辻 隆宏 國友 耕太郎 | 辻 隆宏 國友 耕太郎 | |
| | 血液 | 河北 敏郎 杉谷 浩規 | 原田 奈穂子 三井 士和 | 榮 達智 井上 佳子 | 日高 道弘 河北 敏郎 | 原田 奈穂子 窪田 晃 | |
| | 糖尿病・内分泌 | 西川 武志(午前新患) 西田 周平(午前再診) | 西田 周平(午前新患) 西川 武志(午前再診) | 西川 武志(午前新患) 橋本 章子(午前再診) | 木下 博之(午前新患) 大村 和寛(午前再診) | 橋本 章子(午前新患) 木下 博之(午前再診) | |
| | 呼吸器センター | 名村 亮 原 英記(院内コンサルト) | 小野 宏 熊大医師(院内コンサルト) | (午前紹介/院内コンサルト) 原 英記 | 名村 亮 原 英記(院内コンサルト) | 小野 宏 原 英記(院内コンサルト) | |
| | 感染症内科 | | 小野 宏 | | | 小野 宏 | |
| | 腎センター (腎臓内科) | 梶原 健吾 | 吉井 隆一 | 中村 朋文 | 松下 昂樹 | 富田 正郎 | |
| | 腫瘍内科 | 境 健爾 三井 士和 | 境 健爾 榮 達智 | 境 健爾 磯部 博隆 | 境 健爾 三井 士和 | 境 健爾 榮 達智 | |
| 消化器病センター (消化器内科) | 診 察 | 石井 将太郎 松山 太一 志茂田 美紀 | 杉 和洋 中田 成紀 向坂 健佑 | 杉 和洋 石井 将太郎 志茂田 美紀 | 杉 和洋 松山 太一 松田 暖 | 向坂 健佑 中田 成紀 馬見塚 大悟 | |
| | 内視鏡 | 午前 | 中田 成紀 向坂 健佑 馬見塚 大悟 | 松山 太一 馬見塚 大悟 | 松山 太一 松田 暖 | 中田 成紀 向坂 健佑 志茂田 美紀 | 石井 将太郎 松田 暖 |
| | | 午後 | 中田 成紀 向坂 健佑 馬見塚 大悟 松田 暖 | 石井 将太郎 松山 太一 志茂田 美紀 松田 暖 | 中田 成紀 松山 太一 馬見塚 大悟 松田 暖 | 中田 成紀 石井 将太郎 向坂 健佑 馬見塚 大悟 | 石井 将太郎 松山 太一 志茂田 美紀 |
| | 腹部超音波 | 杉 和洋 松田 暖 | 石井 将太郎 志茂田 美紀 松田 暖 | 中田 成紀 向坂 健佑 馬見塚 大悟 | 石井 将太郎 馬見塚 大悟 | 松山 太一 志茂田 美紀 | |
| 心臓血管センター (循環器内科) | 診 察 | 藤本 和輝 日下 裕章(新患) 木村 優一(新患) | 田山 信至 野津原 淳(隔週 新患) 長倉 拓究(隔週 新患) | 日下 裕章 松原 純一(新患) | 野津原 淳 長倉 拓究 白尾 友宏 藤本 和輝(新患) | 松原 純一 木村 優一 田山 信至(新患) | |
| | (心臓血管外科) | 手術日 | 岡本 実 | 岡本 実 田中 睦郎 | 手術日 | 岡本 実 | |
| 精神・神経科 | 初めの方 | 山下 建昭 | 神野 哲平 | 担当医 | 森並 次朗 荻野 肅 | 山下 建昭 | |
| | 2回目からの方 | 担当医 | 山下 建昭 | | 山下 建昭 | 橋本 聡 | |
| 小児科 | 診察 | 水上 智之 | 西村 円香 | 水上 智之 | 水上 智之 | 山下 貴大 | |
| | 免疫 | 水上 智之 | | 水上 智之 | | | |
| | 血液 | 石田 昌宏 | | 山下 貴大 | | 石田 昌宏 | |
| | アレルギー | | 緒方 美佳 | | 緒方 美佳 平井 奈美 | 平井 奈美 | |
| 外科 | | 宮田 辰徳 藤川 和晃 | 水元 孝郎 井上 光弘 | 野元 大地 | 宮成 信友 井上 光弘 | 久保田 竜生 | |
| | 脳神経センター (脳神経外科) | 大塚 忠弘 中川 隆志 | 手術日 | 大塚 忠弘 宮崎 愛里 | 中川 隆志 | 大塚 忠弘 齊藤 大嗣 | |
| (脳神経内科) | 幸崎 弥之助 | 小阪 崇幸 | | 幸崎 弥之助 小阪 崇幸 | | | |
| 整形外科 | 午前 | 福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平 | 手術日 | 福元 哲也 前田 智 福田 和昭 | 手術日 | 前田 智 中馬 東彦 | |
| | 午後 | 福元 哲也 福田 和昭 寺本 周平 | | 坂本 佳菜子 高木 寛 | | 中馬 東彦 高島 佑輔 | |
| 泌尿器科 | 前田 喜寛 銘苅 晋吾 | 菊川 浩明 鮫島 智洋 近浦 慶太 | 担当医 (手術日) (紹介のみ) | 前田 喜寛 銘苅 晋吾 山中 達郎 | 菊川 浩明 東 俊之介 / 担当医 | | |
| 産婦人科 | 高木 みか | 西村 弘 山本 文子 | 山本 文子 | 高木 みか 山本 直 | 西村 弘 直 | | |
| 感覚器センター (眼科) | 榮木 大輔 吉積 華子 中西 美穂 | (手術日) | 榮木 大輔 吉積 華子 中西 美穂 | (手術日) | 榮木 大輔 吉積 華子 中西 美穂 | | |
| 感覚器センター (耳鼻咽喉科) | 手術日 | 上村 尚樹 志茂田 裕 | 手術日 | 担当医 | 上村 尚樹 志茂田 裕 | | |
| 感覚器センター (皮膚科) | 初診(紹介あり) | 城野 剛充 | 牧野 公治 | 市村 知佳 | 西 葉月 | 中嶋 仁美 | |
| | 再診 (初診 無紹介) | 城野 剛充 市村 知佳 | 西 葉月 牧野 公治 | 中嶋 仁美 市村 知佳 | 城野 剛充 西 葉月 | 牧野 公治 中嶋 仁美 | |
| 形成外科 | (午後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 東野 哲志 石田 拓也 | (午後) 担当医 (紹介のみ) | 手術日 | (午後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 東野 哲志 石田 拓也 | (午後) 大島 秀男 東野 哲志 石田 拓也 | | |
| 放射線科 | 治療(予約制) | 富高 悦司、山口 晃世 | | | | | |
| | 画像診断 | 浅尾 千秋、伊藤 加奈子、根岸 孝典、井上 聖二郎、幸村 紘子、吉松 俊治 | | | | | |
| 麻酔科 | 宮崎 直樹 (術前診察/麻酔相談) | | 休診 | | (午前のみ) 瀧 賢一郎 (麻酔相談) | | |
| 緩和ケア外来 | 磯部 博隆 | 榮 達智 | 磯部 博隆 | 磯部 博隆 | 磯部 博隆 | | |
| 歯科 口腔外科 | | 谷口 広祐 早川 真奈 中尾 美文 森 久美子 | 中島 健 谷口 広祐(隔週) 早川 真奈(隔週) 中川 文雄 中尾 美文 森 久美子 | 中島 健 谷口 広祐 早川 真奈 中尾 美文 | 中島 健 谷口 広祐 早川 真奈 中川 文雄 | 中島 健 谷口 広祐 早川 真奈 中川 文雄 中尾 美文 | |
| | 救命救急センター | 櫻井 聖大、山田 周、橋本 聡、深水 浩之 | | | | | |
| 看護外来 | ストーム | 國友 耕太郎 | 認定看護師 | 認定看護師 | 認定看護師 | 認定看護師 | |
| | がん看護 | 専門看護師(午前) | 専門看護師 | 専門看護師 | 専門看護師 | 専門看護師 | |
| | 移植後フォローアップ | 専門看護師 他 | 専門看護師 他 | 専門看護師 他 | 専門看護師 他 | 専門看護師 他 | |
| 薬剤師外来 | がん化学療法 | 薬剤師 | 薬剤師 | 薬剤師 | 薬剤師 | 薬剤師 | |

(注)担当医は都合により変更することがあります。手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。

R3/10/1